



平成28年7月26日(火) 第349号

安全対策の重要性を再確認 八戸と弘前で工事安全講習会実施

7月19日(火)に八戸地区、21日(木)に弘前地区でそれぞれ約20名が参加し、工事安全講習会が行われました。

安全講習会は、受注者側と発注者側が合同で現場点検及び意見交換を行い情報共有することで、**工事事務防止・第三者被災防止などの安全対策**や**事業箇所周辺の環境対策**に役立たせ、**無事故・無災害で工事が完成**することを目指し、毎年県内5地区(五所川原・弘前・青森・十和田・八戸)で行われているものです。



▲現場点検(八戸地区)の様子▲

今回、八戸地区では現在施工中の八戸・久慈自動車道(国道45号)の階上地区橋梁上部工工事・下桑木(しもくわき)地区道路改良工事、弘前地区では津軽自動車道(国道101号)の高屋敷(たかやしき)地区道路改良舗装工事・吉野田地区道路改良工事の現場点検を行ったあと、検討会を実施し、改善点や、他の工事現場でも取り入れたい点などを話し合い、**危険と隣り合わせの作業の中での安全対策の重要性を確認**しました。



▲点検結果検討会(八戸地区)の様子▲



▲点検結果検討会(弘前地区)の様子▲



▲現場点検(弘前地区)の様子▲

また安全講習会では八戸・弘前の各労働基準監督署長による「建設業の労働災害防止対策」等について安全講話も行われました。

今後は受注者側・発注者側共に今回の安全講習会の内容を役立たせ、無事故・無災害で工事が完成することを目指します。

クリック▶ 7/14 女性技術者が参加した
十和田・小川原湖地区合同安全講習会の様子
(青森河川国道ニュース第348号)